

きずな



蓮田・白岡地方ユネスコ協会

第9回地域文化遺産スタディ

縄文期の蓮田・白岡

「縄文人のくらしに学ぶ」

2月17日(土)午後2時から白岡市の「はびすしらおか」において、講師に、蓮田市教育委員会の田中 和之さんと、白



講師の田中さん



講師の奥野さん

岡市教育委員会の奥野 麦生さんをお呼びして、第9回の地域文化遺産スタディを開催しました。今回は、蓮田・白岡の縄文期について「縄文人の

第9回 地域文化遺産スタディ
「縄文期の蓮田・白岡」
縄文人のくらしに学ぶ

好評、地域文化遺産スタディの9回目は、縄文期の蓮田・白岡です。遺跡や出土品の解説だけではなく、そこから分かる縄文人の暮らしぶり、人や物の動きなどを、蓮田市、白岡市の遺跡発掘に携わっている教育委員会のお二人にお話いただきます。縄文人のくらしに学び、今の私たちの暮らしぶりを見直すきっかけになるかもしれません。

日時：2013年2月17日(日)
14:00~16:00
場所：白岡市「はびすしらおか」市役所隣接
参加費：会員・学生 無料/一般 200円

主催：蓮田・白岡地方ユネスコ協会
http://www.unesco.or.jp/hasuda-shiroka/
後援：白岡市教育委員会、蓮田市教育委員会、日本ユネスコ協会連盟

くらしに学ぶ」と題して、お二人からお話をいただきました。

今までの地域文化遺産スタディは蓮田と白岡で、それぞれ同じテーマで分けて開催してきました。最初が入門編、続いて地名、芸能・祭礼、明治期でした。今回は、テーマが現在の行政区分がない、古代という事も



満員の会場

あり、蓮田・白岡の両教育委員会から遺跡調査等に携わっていらっしやるお二人をお呼びしての講座となりました。

この地域文化遺産スタディは、毎回多数の参加を戴くのですが、今回は110名を超える参加者で、急遽椅子を追加する程の盛況さでした。

講座は、

1. 縄文時代の基本事項

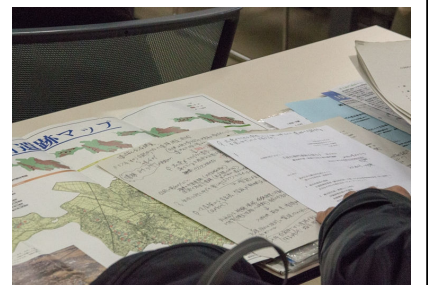
スタディのポスター

- ① そのころの蓮田・白岡の様子
- ② 川や丘の様子、草や木は？、鳥や獣たちは？
- ③ 人々の暮らし
- ④ どのような暮らしだったのでしょうか
- ⑤ 食べ物？、道具



小学生の姿も

2. 縄文時代の人々を取り巻く環境について
- ① 「縄文時代」っていつごろ？
② 「縄文時代」ってどんな時代？



詳細な資料持参の聴衆の方も



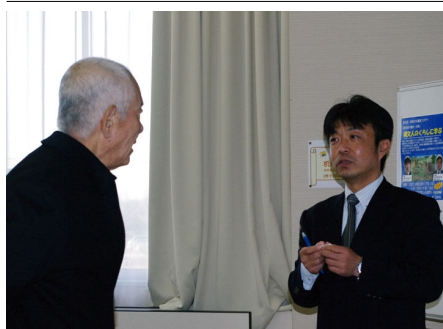
講演後も熱心な参加者から質問が

や、小学生も参加し、地域の歴史・文化に対しての関心の高さが伺えました。



質問する参加者

4. ムラの成立と交流
 - ① ムラの様子は？
 - ② ほかのムラとの交流は？
- 等について、スライドを使い、解説をいただきました。
- 詳細な資料持参の方



なお、当日はケーブルテレビのJCN関東の取材もあり、後日放送がされました。



JCN関東の取材を受ける田村会長

また、質問も時間が足りなくなるほど多くの方からいただき、閉会後も講師のお二人に質問する方もおり、盛況のうちに

終了する事が出来ました。

文化遺産めぐり

渋沢史料館見学

1月27日(日)



第7回文化遺産めぐりは、平成25年1月27日(日)に実施しました。

11名のご参加を戴き、東京北区王子にある渋沢史料館を見学しました。



史料館全景



案内の桑原さん

物の都電やD51もあり、当日も沢山の子ども達が遊んでいました。渋沢史料館は埼玉県深谷市出身で日本に近代経済社会の基礎を築いた渋沢栄一の1840(天保11)年から1931(昭和6)年の91年に及ぶ生涯と彼が携わった数多くの事業と、多くの人々との交流を示す資料が展示されています。



庭園の説明を聞く参加者



青淵文庫前で参加の皆さん



王子駅近くでの懇親会

ご説明でした。帰路、王子駅近くで希望者による懇親会を催し、散会となりました。

学芸員の桑原功一さんにご説明を戴き、資料館内以外に渋沢栄一の住居跡である、渋沢庭園と空襲での焼失から免れて唯一残り、大正期の小建築として国指定重要文化財である、「晩香廬(ばんこうろ)」「青淵文庫(せいえんぶんこ)」をも加えて時間いっぱいでした。

NHK放送博物館見学

6月2日(日)



平成25年6月2日(日)に実施しました。今年は早い梅雨入りで当日の天気予報では、雨でしたが実際は晴天に恵まれ、11名の方々が参加いただきました。NHK放送博物館「寛永三馬術」の1人、曲垣平九郎(まがき・へいくろう)が馬で上り下りしたと言われる出世の石段を下り、帰路につきました。途中の上野で懇親会を催し、散会となりました。



案内の徳永さん

メトロ「神谷町」駅集合にて東京港区愛宕(通称愛宕山)「NHK放送博物館」を訪れました。テレビ放送60周年の今年に因んでNHKラジオ放送、テレビ放送、昭和20年8月15日の「終戦の詔勅」のレコード裏話、その後現在の大河ドラマ「八重の



スタジオ見学

桜」の衣装、小道具等を学芸員の徳永貴夫さんに時間を拡大してご説明いただきました。



懐かしい放送を聞く参加者



参加した皆さん



出世の石段を下りて帰路に



懇親会の様子

会員紹介

①出身地②今までの歩み③ユネスコ活動について敬称は省略しています

小野寺しづ子

(おののら しづこ)



①埼玉県上尾市
②昭和56年大宮市吉野町から転居
③私にとってユネスコとの出会いは、45年前に行った所沢市の「ユネスコ村」です。そして現在、色々な分野で活動を続けておられる皆様の事を知り、地域の事、社会の事を学び、楽しく活動し、ご指導いただきましたと思っています。

早川正恭

(はやかわ まさやす)



①東京浅草生まれ。曾祖父から4代目の江戸っ子。
②2001年イトーヨーカ堂を定年退職、中国南京市の大学で日本語教師として5年間教鞭を執り、その後、山東省青島(チンタオ)市の大学に移籍し7年目。現役時代にイトーヨーカ堂の北京1号店の立上げに3年間駐在、中国生活は通算15年の中国バカ。若い大学生との交流で老けるのも忘れ、気力と体力を維持し、これからも教鞭を執るつもりです。何人もの教え子が日中の懸け橋となって活躍してくれています。

高松 妙子

(たかまつ たえこ)



①東京板橋区に産まれ育ち、現在は埼玉白岡市に在住です。
②週2〜3日、仕事をしていますが、ハワイが大好きで、今は「ウクレレ」に夢中です。
③地元の仕事をもっと知りたいーそんな時、友達から協会の事を聞き、入会させて頂きました。活動に参加したり、いろいろな事を教えていただけましたらと思っています。

長瀬恒雄

(ながせつねお)



①福島県いわき市出身
②昭和14年田舎では不況の為、就職できず叔父を頼って南満州鉄道の養成所の試験を受けて入社する。
20年5月召集令状がきて北満に入隊、8月ソ連と対戦、結果敗戦捕虜となりシベリアに連行、3年間鉄道線路建設に従事、
24年に帰国、25年満鉄時代の上司の会社に入社。

①生育は東京都北区
②港区、白岡、蓮田、会津そして蓮田へ
③会津ではユニセフや町のボラ。福島の山々を歩き、クロカンを染しみ、漆器・郷土料理に感動し会津の歴史他沢山教えていただきました。
④海外に出て世界の子供たちの貧しさを膚で感じましたのでユネスコ活動を通じて何かお手伝いさせて頂きながら国の内外の世界遺産を学びたいと思っています。

46年ご縁があつて稲田黄洋先生の面接法の色彩魚拓の指導を受け、後にオーストラリアと日本の文部科学省からの要請があつて南極海の魚の色彩魚拓作成のプロジェクトに参加、英語と日本語の色彩魚拓の本を発刊。現在に至る。

次回は9月29日 観喜院聖天堂です。

皆さんの参加をお待ちしています。

2013年度総会

4月27日(土) 14時より蓮田市図書館視聴覚ホールにて、2013年度の総会が開催されました。会員数57名、総会出席者12名、委任状18名の計30名で会則第8条の要件である、3分の一の19名を満たしている事により、総会は成立し、江口 保さんが議長となり、議事が進められました。第1号議案から第6号議案まで質疑応答の後、提案通りの内容で承認されました。2013年度からの役員構成は以下の通りとなりました。よろしくお願いたします。



総会の様子

理事

田村勝彦(会長)
半田雄司(副会長)
飯島 剛(副会長)

宮崎 博(事務局長)
江口 保(事務局)
雲見昌弘(事務局)
若林博子(事務局)
長嶋佑介(事務局)
平賀栄美子(事務局)
斎藤恵美子(監事)

なお、会計担当は平賀さん、会報・ホームページ担当は宮崎さん、書き損じハガキ担当は若林さんとなりました。

第5回寺子屋講座

世界遺産早わかり

第5回寺子屋講座は、2013年度総会に引き続いて開催されました。今回は、「世界遺産早わかり」と題して、ユネスコ協会連盟・教育文化事業部の尼子美博さんをお招きして世界遺産についてのお話をいただきました。



お話は、
1. UNESCOとは？
2. 世界遺産とは？
3. 日本ユネスコ協会連盟の世界遺産活動
の三つのテーマについて、スライドを使ってのお話でした。

1. UNESCO(教育科学文化機関)とは？
1946年に創設され、現在195ヶ国が加盟し、

・教育、科学、文化、コミュニケーション通じた国際理解や国際協力の推進
・人々の交流を通じた国際平和と人類の福祉の促進を担っています。

2. なぜユネスコで世界遺産を決めているのか？
ユネスコ憲章の中の一文である「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」は有名ですが、それに続く一文「相互の風習と生活を知らないことは、人類の歴史を通じて世界の諸人民に間に疑惑と不信をおこした共通の原因であり、この疑惑と不信のために、諸人民の不一致があまりに

多様性を理解し、それらを世界遺産として、世界全体で人類の宝物として守ることが、平和な社会を築く手段として考えられました。
3. 協会連盟と世界遺産カンボジアとフィリッピンの世界遺産保護について、協会連盟が行っている活動について説明がありました。

賛助会員・法人会員の皆さんです(順不同・敬称略)。
賛助会員
日比勇三
石崎光夫
関口茂
松本行夫
中島のぶ子
成田能祥
熊本喜久男
西山通夫
法人・団体会員
セブン・イレブン
船橋米ヶ崎店
㈱エルビー
彩々楽
㈱フマ ツアーズ
蓮田郵便局
東商事㈱
㈱豊進自動車サービス

書き損じハガキ報告

2012年11月から2013年3月まで実施した書き損じハガキ回収キャンペーンにご協力いただきありがとうございました。回収されたハガキは236枚でした。ハガキ以外にも現金、切手、図書カードをご寄附いただきました。ハガキは郵便局のご協力で切手に交換、金額換算で1万2347円分の切手を日本ユネスコ協会連盟に送付しました。本年度もご協力よろしくお願いたします。



フィリピン コルディリエーラの棚田群
伝統的知識継承プロジェクト

フィリピンでの棚田保存活動